



広報 KOGA NO.22

こが
古河

目次

- 2 納税について
- 4 ISO14001の運用
- 6 都市再生整備計画
- 8 地域を守る消防団・水害への備え
- 10 ヘルストレーニングのすすめ
- 12 「古河大使」永井路子さん

7

JULY

2007

わたしたちのまちの運営に必要な財源だから 税金を納期限内に納めましょう



税金は皆さんが納付することで市の財産に生まれ変わります。しかし、何らかの事情により納付が遅れている人が見受けられ、今後の市の財政運営に支障をきたす恐れがあります。納期限内の納付にご協力ください。

なお、徴収事務の強化を図るために収納課を今年4月の機構改革で古河庁舎に集約するとともに滞納処分室を設置し、組織を新たにしました。

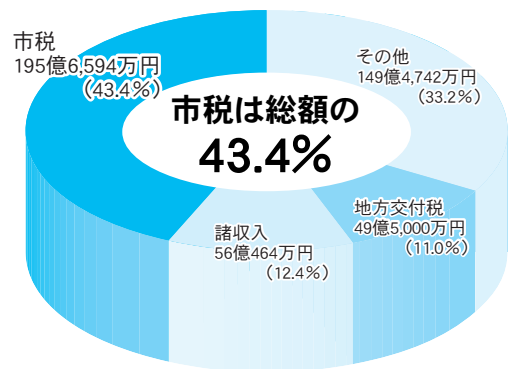
今月号では、納税等の概要をお知らせいたします。

■市税の現状

市税は重要な自主財源

市の行政サービスを運営する上で欠かせない財源は、市税による収入です。国の「地方でできることは地方に」という方針のもとに進められた「三位一体改革」により今年から皆さんが国に納める税金(所得税)を減らし、地方に納める税金(個人市民税・県民税)を増やすことで税源移譲が行われました。税源移譲が行われると今まで受けていた国の補助金などが少なくなり、自主財源を頼りに財政を運営していくこととなります。地方分権を確立するためにも、これまで以上に厳正で公平な税の執行をしなければなりません。安定した財源確保のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成19年度予算(一般会計歳入)
総額 450億6,800万円



■市税の種類

税金の種類	納める人
個人市民税	<ul style="list-style-type: none"> ・1月1日現在、市内に住所があり前年中に所得のあった人 ・1月1日現在、市内に住所はないが市内に事務所・事業所・家屋敷を所有する人 ※個人県民税は市民税と合わせて課税し納めます ※納める方法は、勤務先から毎月の給与から天引きされる特別徴収の方法と市から送られる納付書により直接個人で納める普通徴収の方法があります
法人市民税	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に事務所または寮等を有する法人 ・市内に事業所または寮等を有する法人でない社団または財団で、代表者または管理人の定めのあるもの
固定資産税	1月1日現在、市内に土地・家屋・償却資産(事業用)を所有している人
都市計画税	1月1日現在、市内の市街化区域内に土地・家屋を所有している人 ※固定資産税と合わせて納めます
軽自動車税	4月1日現在、原動機付自転車、軽自動車、二輪の小型自動車、小型特殊自動車(農業作業用を含む)を所有している人
国民健康保険税	国民健康保険に加入している人の属する世帯主

※上表以外の市税には、市たばこ税、入湯税などがあります。

■主な市税の納期

納期月	個人市民税・県民税 (普通徴収)	固定資産税 都市計画税	軽自動車税	国民健康保険税	平成19年度の納期限日
4月	—	第1期	—	—	平成19年 5月 1日(火)
5月	—	—	全期	—	平成19年 5月31日(木)
6月	第1期	—	—	—	平成19年 7月 2日(月)
7月	—	第2期	—	第1期	平成19年 7月31日(火)
8月	第2期	—	—	第2期	平成19年 8月31日(金)
9月	—	第3期	—	第3期	平成19年10月 1日(月)
10月	第3期	—	—	第4期	平成19年10月31日(水)
11月	—	第4期	—	第5期	平成19年11月30日(金)
12月	第4期	—	—	第6期	平成19年12月25日(火)
1月	—	—	—	第7期	平成20年 1月31日(木)
2月	—	—	—	第8期	平成20年 2月29日(金)

※納期限日は各納期月の末日(12月は25日)。ただし、納期限日が土・日・祝日の場合はその翌日が納期限日となります。
(注意) 古河地区の集合主税につきましては、平成19年度課税分から個人市民税・県民税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険税の税目ごとに納める方法に変更になりました。

■未納にならないために

○口座振替を利用

納税には、各納期のうっかり忘れなどを防止するため、安心、安全、便利な口座振替をご利用ください(引落日は各市税の納期限日)。口座振替の申し込みは、預金通帳、金融機関届出印および納税通知書を持参の上、市役所収納課(古河庁舎)、市役所税務課(総和庁舎・三和庁舎)または市内金融機関(郵便局を含む)

でお申し込みください。なお、口座振替は、申し込みをいただいた受付月の翌月納期分から開始になります。

○納税相談

税金は定められた納期限内に納付しなければなりません。ただし、納期限までに納付することができないやむを得ない事情(病気や災害等)がある場合は、お早めに市役所収納課へ相談してください。

■市税を納めない

○滞納処分を受けることになります

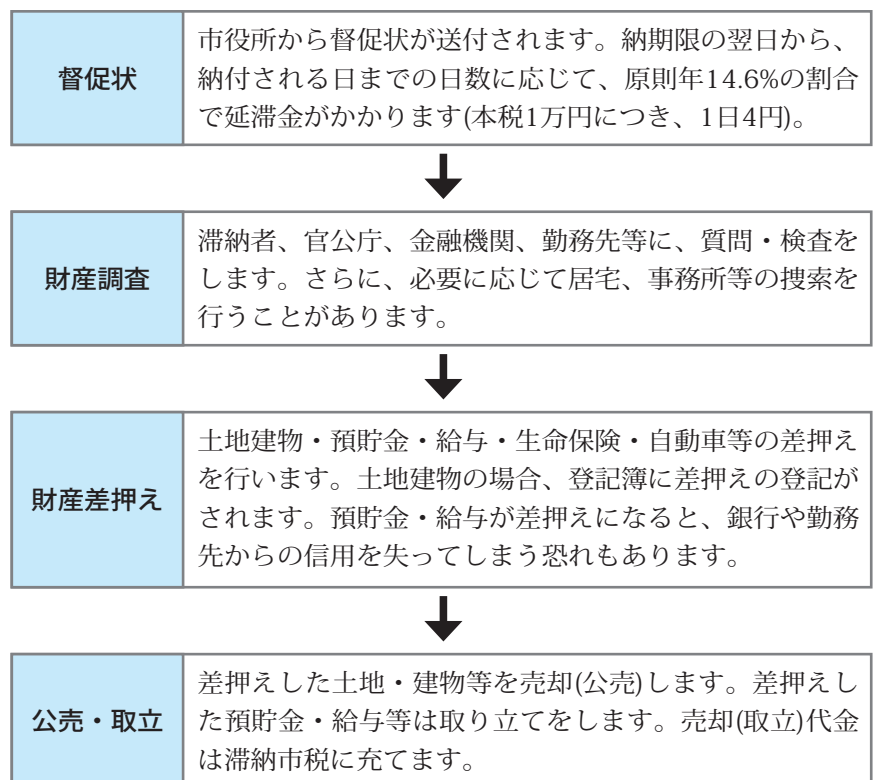
市税を納めないと、市では早く納付していただくよう催告の通知書(督促状など)を送付していますが、それでも納付していただかない場合は「差押え」等の処分を行うこともあります。これは、納期限までに納付した人との負担の公平性を保つために、法律に基づく手続きにより行うものです。

○さまざまなサービスが受けられなくなります

国民健康保険税が未納の場合、国民健康保険証の有効期限が短くなることや、医療費が一旦全額自己負担となることがあります。軽自動車税が未納の場合は車検が受けられなくなることがあります。

また、他に行政サービス(生ごみ処理機器購入費や人間ドック検診費の補助など)を受けられなくなることがあります。

【未納のまま放置すると】



【問】古河庁舎収納課 ☎22-5111

ISO14001の実績をお知らせします!



◀市役所はエネルギーの使用削減による地球温暖化の防止を図るため、クールビス(室温28度に設定)を取り入れて二酸化炭素削減と経費削減に取り組んでいます。

合併前には、平成11年11月に旧総和町、平成12年3月に旧古河市がそれぞれ環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得しました。

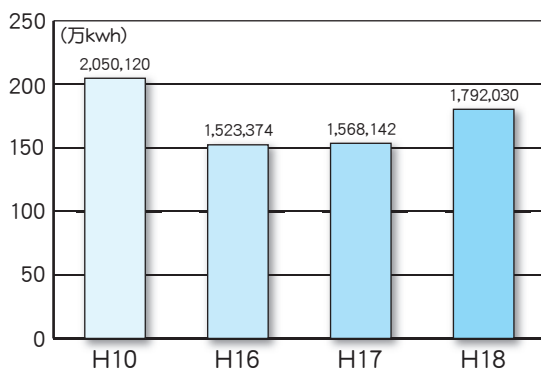
合併後も先に取得をしていた旧総和町の例を引き継ぎ、省エネ・省資源活動など、職員による組織的な環境保全活動を実践しています。また、規格の適用範囲は現在、総和地区の公共施設としていますが、将来古河市全域に拡大する予定です。

なお、具体的な活動としては、電気・ガス使用量削減をはじめ、燃料購入量削減、用紙購入量削減、アイドリングストップ運動、ごみの分別徹底など日常業務の改善を図りながら、環境への負荷低減に取り組んでいます。

今回は、これまでの主な取り組み及び実績についてお知らせします。

※表の見方……平成10年度を基準年度とし、削減率は各年度の実績と比較したものです。また、平成16年度実績値については旧総和町、平成17年は年度途中での合併(平成17年9月12日)に伴い、旧総和町のデータ(合併前)と新古河市のデータ(合併後)とを加えたものであり、平成18年度実績が新市発足後のデータとなります。

電気使用量削減



電気使用量については、施設の利用状況や天候に大きく左右されることが多く、非常に難しい目標であります。

また、合併に伴う職員増(約1.5倍)、OA機器の増加にもかかわらず、全職員による退庁時の消灯、空調温度の設定管理(冷房28℃、暖房20℃)やOA機器等の電源管理の徹底により、目標を達成することができました。

	H10(基準年度)	H16	H17	H18
電気使用量実績	2,050,120	1,523,374	1,568,142	1,792,030
H10年度基準対比削減目標	-	-4.5%	-5%	-5.5%
削減率(H10年度比較)	-	-25.69%	-23.51%	-12.59%

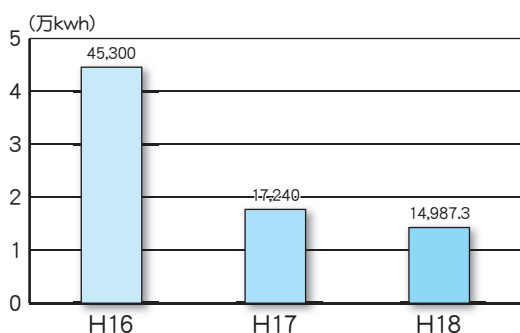
(単位：kwh)

用紙購入量削減

用紙購入量については、全職員による両面コピーの実施、リユース紙(ミスコピー等の裏面利用)使用の徹底や庁内文書のペーパーレス化などにより目標を達成することができました。

また、用紙の購入にあたっては、再生紙購入率100%を達成することができました。

ガス使用量削減



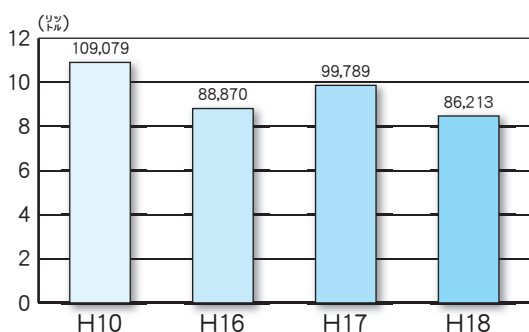
ガス使用量については、前年度(H17)実績を踏まえ、削減目標を20%UPの50%削減と非常に高い目標設定でしたが、空調機の温度管理をはじめ、会議室等の空調消し忘れ防止の徹底を図り、目標を達成することができました。

	H16(基準年度)	H17	H18
ガス使用量実績	45,300	17,240	14,987
H16年度予算額数量対比削減目標	-	-30%	-50%
削減率(H16年度比率)	-	-61.94%	-66.92%

(単位：kwh)

燃料購入量削減

燃料消費については、地球温暖化や酸性雨の発生などにも影響を与えうる原因となっています。このことから、燃料使用量の削減を進めるため、電気と同様に空調温度の設定管理やストーブ使用時間の自粛などを実施することにより、目標を達成することができました。



	H10(基準年度)	H16	H17	H18
灯油・重油購入実績	109,079	88,870	99,789	86,213
H10年度対比削減目標	-	-9%	-10%	-8%
削減率(H10年度比較)	-	-18.53%	-8.52%	-20.96%

(単位：ℓ)

再生アスファルトの使用及び建設残土の再生指定処理を実践しています

市が発注する建設工事では、建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)に基づき、特定建設資材(コンクリート・アスファルト・木材・鉄)廃棄物の分別解体・再生指定処理の法遵守をはじめ、工事材料に再生アスファルトの使用や建設残土の再生指定処理につとめ、環境負荷低減を図るため取り組みました。

◇再生アスファルトの使用率：100%

◇建設残土の再生指定処理率：100%

【問】 三和庁舎環境政策課 ☎76-1511

子どもたちもエコ活動のステップアップを目指しています!

市内小中学校でもエコ・スクール(学校版環境ISO)実践校として、各学校それぞれの特色を活かし、魅力ある学校づくりを目指して児童・生徒、先生たちが一緒になって環境にやさしい取り組みを実践しています。

【上大野小学校：齋藤教諭】

本校では、学校教育活動を通じて地球環境にやさしい実践的かつ継続的な環境保全活動を実践しています。具体的には、授業の中で「環境問題」を取り上げ、総合学習の時間等を利用し、各学年に応じた環境教育学習を実施したり、全児童・職員・保護者が一体となって環境整備や美化運動(通学路クリーン作戦・業間奉仕活動など)を実践しています。

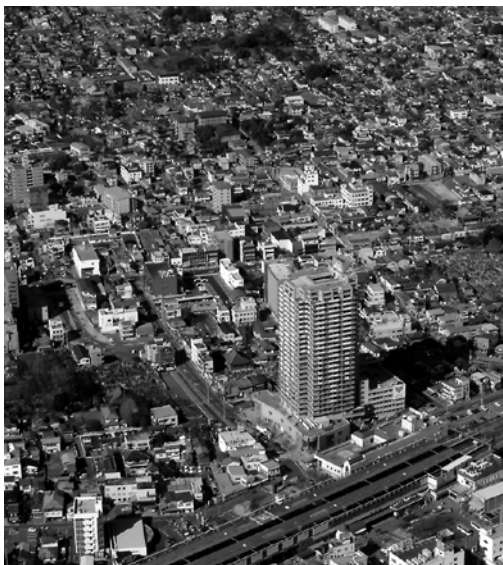
また、社会科の時間を利用して地域の自然環境調査ということで、市で実施している水調査隊事業に積極的に参加し河川・水道の水質調査を行ったり、ごみ処理場や下水処理場などの施設見学をしたりしています。

今後の課題としては、保護者との連携、協力を図り、学校での取り組みを各家庭に実践活動を拡大していけたら良いですね。



▲通学路におちているゴミを拾う上大野小学校の児童たち

個性あふれるまちづくりを推進



歴史的資源やまちなか資源を活用した古河駅西口地区の再生・活性化

古河市の西の玄関口・古河駅西口地区は、渡良瀬川などの恵まれた自然環境のもと、多くの歴史的資源や偉人・文人の足跡を残す地区です。しかし近年、中心市街地では車社会化等による商業の低迷や、定住人口の減少による空洞化の進行など、都市活力の停滞が顕著になっています。

このため市では、*まちづくり交付金と合併特例債を活用し、古河駅西口地区の整備を進めていくことになりました。事業期間は平成19年度から23年度の5年間、総事業費は約30億円となる予定です。

古河駅西口地区が風格ある古河市の顔となるよう、地域固有の歴史・文化を生かしたまちづくりを推進していきます。

【問】企画政策課 ☎92-3111

主な整備内容

○県道東野田古河線(鍛冶町通り線)整備事業

鍛冶町通り(一般市道を含む)の歩道拡幅整備や電線類地中化整備を行う。

○中横通り6号線整備事業

県道野木古河線からよこまち柳通りへのアクセス向上を図る。

○まくらがの里散歩道整備事業 ポケットパーク整備事業

古河市の豊かな自然、名所、文化施設等を安全で快適に散歩するための「まくらがの里散歩道」を整備する。

○スタンプポスト再設置事業

「まくらがの里散歩道」3コースに設置されているスタンプポストを一新し、古河駅西口地区周辺の歴史や文化のPRを図る。

○市内標識板設置事業

古河駅西口地区の各主要施設に誘導する標識板を設置する。

○古河城跡地整備事業

古河城跡地情報板設置事業
古河城遺跡の一部で、土塁・堀跡の残る遺構を整備し、史跡めぐりのコースに活用する。

○指定文化財等説明板設置事業

指定文化財等の説明板を修復し、歴史ある古河市をPRする。

○(仮称)古河市地域交流センター整備事業

地域住民の交流や情報発信の拠点となる、多目的ホール・会議室・イベントギャラリーなどを備えた複合施設を整備する。

○出城界限お休み処整備事業 出城界限ミュージアムタウン環境整備事業

古河文学館駐車場購入事業
国の登録文化財建造物である坂長本店の蔵を取得し、「お休み処」として改修する。また、来訪者用の駐車場(古河文学館)を取得する。

○奥原晴湖画室の移築

古河で生まれ明治初期に活躍した南画家の第一人者・奥原晴湖の画室を古河歴史博物館周辺に移築し保存・活用する。

○まちなか再生市民広場整備基本計画策定事業

駅西口のまちなか再生市民広場を中心に、中心市街地の活性化および観光拠点の整備を図るための基本計画を策定する。

○旧焼却場解体事業

歴史・展望広場整備

古河地区にある旧焼却場を解体し、その後、歴史・展望広場や駐車場を整備する。

○散策路等沿道飲食店連携・活性化支援

古河駅西口地区の散策路等の沿道の飲食店等と連携し、イベントを行い商店街の活性化施策を支援する。

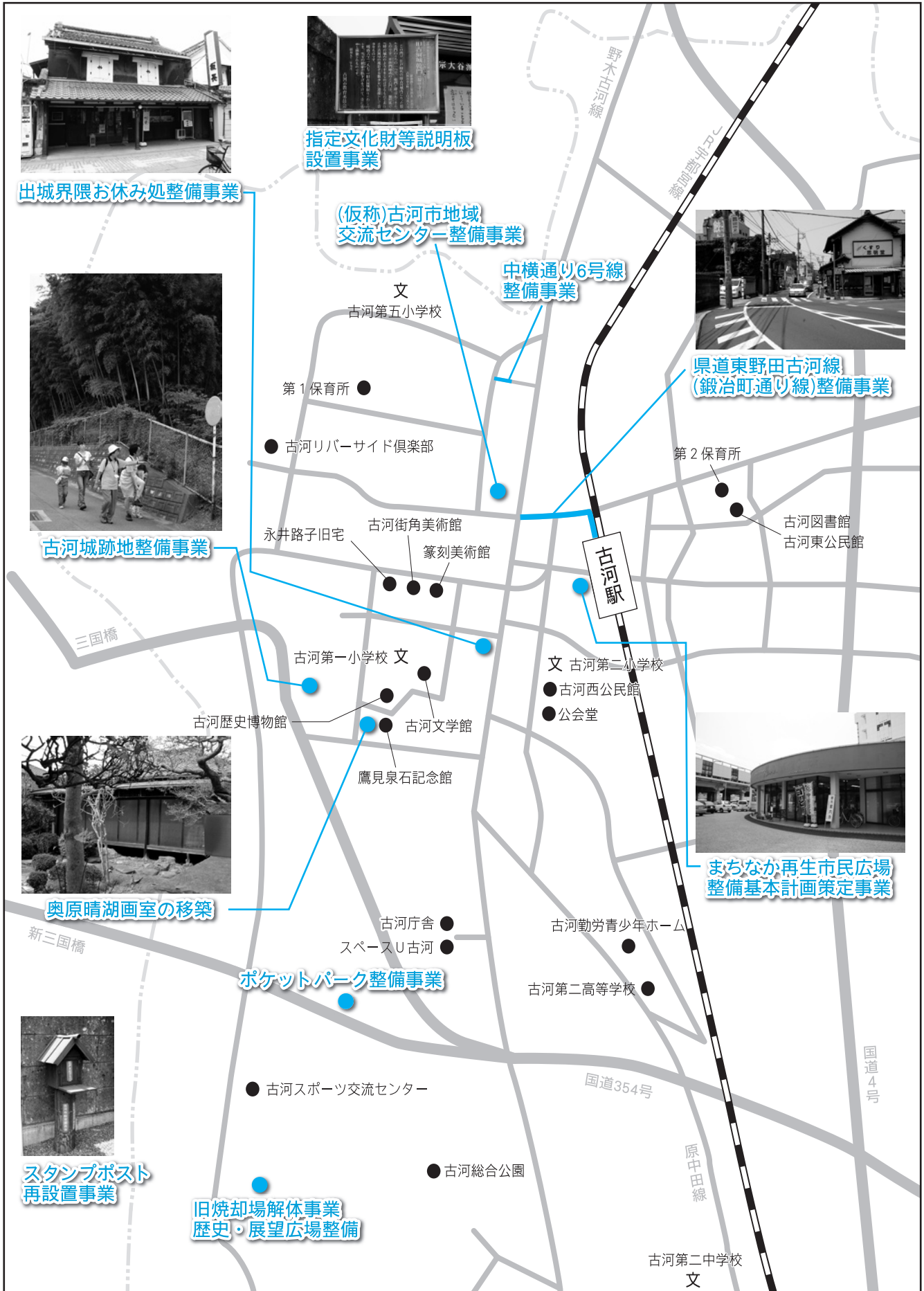
○ガイドマップ作成事業

まちづくり事業によって整備された各種施設や観光資源を盛り込んだ新しい古河駅西口地区のガイドマップを作成する。

*まちづくり交付金とは

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を生かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施するために、国から交付される交付金。全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るためのものです。

目標 風格ある歴史・文化と“人”が織り成す、交流・活力のまちづくり



地域を守る消防団

守りたい人がいる 守りたいまちがある



消防団は、地域と住民の「生命・身体・財産」を守るため、昼夜を問わず献身的に地域の防災に貢献しています。平常時においてもその活動は重要であり、警戒や広報活動など幅広い役割を担い日々、災害からまちを守っています。

消防団員は普段それぞれ別の職業を持っていますが、いざ火事や災害が発生すると、災害現場にかけつけて活動にあたっています。

古河市には古河消防団(8ヶ分団編成)・総和消防団(10ヶ分団編成)・三和消防団(9ヶ分団編成)があります。団員の数は409人で、20歳代から70歳代までの幅広い年齢で構成されています(平均年齢は36.2歳)。

消防団員は、地域の推薦を受けて消防団長より任命され、非常勤特別職の地方公務員となります。

消防団員の役割は突発的に起こる災害から地域住民を守ること。火災発生時の消火活動ばかりでなく、風水害や地震の災害における避難誘導や救助・救出活動なども

行います。その地域を熟知している消防団でなければ対応できないこともあるので、その役割は重要です。

消防団活動はひとつ間違えれば大事故につながる危険を伴う任務ですが、「自分たちのまちは自分

たちで守る」という郷土愛の精神で団員は日々活動を行っています。円滑な消防団活動を行うには、地域の皆さんの温かい支援と後継者の確保・育成が必要ですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

○古河市消防団の主な事業

日ごろから訓練や点検などを行い、災害に備えています。

4月～5月	幹部教養訓練
6月～8月	消防団員基本訓練、水防訓練、消防・防災研修
9月	市消防ポンプ操法大会
10月	県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会
11月	秋季火災予防運動(夜間警戒・広報活動)
12月	機械器具置場(詰所)点検
1月	消防出初式
2月～3月	春季火災予防運動(夜間警戒・広報活動)

※消防ポンプ自動車や消火栓、防火水槽などの定期点検も常に行っています。

洪水

そのときどうする？

～水害への備え～

私たちの住む日本は、自然的環境から洪水等による災害を受けやすく、毎年のように豪雨や台風による洪水が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしています。

古河市でも毎年、大雨等により作物や建物への被害が出ています。大雨により利根川や渡良瀬川が破堤した場合、市内の約5割が浸水すると想定されています。そのようなときに備え、普段から家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。



避難場所を確認

日ごろから、地域の避難場所や安全な場所を確認しておきましょう。警報や避難勧告・指示が出された場合は、速やかに指定の場所に避難しましょう。

○古河市の指定避難場所
市内全ての小中学校・高等学校、市役所古河庁舎、古河ゴルフリンクス、古河福祉の森会館、隣保館、中央公民館、さくら公民館、ふれあい公民館、コミュニティセンター総和、せせらぎの里(総和老人福祉センター)、サークル館(総和勤労青少年ホーム・総和働く女性の家)、総和水処理センター、ネーブルパーク、ユーセンター総和、広域中央運動公園総合体育館、セミナーハウス誠心館、つつみ公民館、とねミドリ館(生涯学習センター総和)、三和健康ふれあいスポーツセンター、三和公民館、諸川公民館、古河産業技術専門学院、三和農村環境改善センター、三和地域福祉センター

緊急時の必需品を用意

非常用食料や持ち出し品(懐中電灯、ラジオ、衣類、医薬品、貴重品など)を常に家庭に用意しておきましょう。

気象情報をキャッチ

テレビやラジオ、防災行政無線などで、伝えられる注意報や警報などの情報を入手しましょう。

避難勧告・命令

河川の水位が警戒水位(水防活動を行う目安となる水位)を超え、危険水位(河川の水があふれるまたは堤防が決壊する恐れのある水位)に迫ると市役所から避難勧告・命令が出されます。

※雨量や水位の情報は国土交通省のホームページで確認できます。
パソコン <http://www.river.go.jp/>
携帯電話 <http://www.i.river.go.jp/>

まちが浸水したときの注意

○水の集まる低い場所を避ける

浸水の深そうな場所(地下室、地下ガレージなど)は危険ですので近づかないようにしましょう。

○路上には危険がいっぱい

水没して見えない路上の段差や水路などに注意してください。ふたのはずれたマンホールや側溝に転落する恐れもあります。

○車での移動や避難は避ける

自動車などで避難すると、電機系統のトラブルで立ち往生したり、緊急車両の通行の妨げになったりすることがあります。



【問】 総和庁舎(本庁)交通防災課 ☎92-3111

みなさん、健康な日々を過ごしていますか？ 生活の一部に運動を！



▲時間帯でさまざまなエクササイズが楽しめます。※写真はダンベル・チューブエクササイズ教室（総和福祉センター「健康の駅」内ヘルストレーニングルーム）

気持ちよくトレーニングして、体力アップ・脂肪燃焼・生活習慣病予防・メタボリックシンドロームを改善しましょう。

また、運動で心と体をリフレッシュ、「モヤッ」とした頭(脳)を「スッキリ」させてみましょう。

日ごろのストレスを発散してみてはいかがでしょうか？

運動すると……

専門的な視点から見ると、身体に対する効果・影響としては、

- ①体型の変化(脂肪の減少、引き締まる)
 - ②筋肉・骨の変化(力がついたり、骨や関節が強くなる)
 - ③代謝量の変化(新陳代謝・基礎代謝量の増加、体温調節の向上で汗が出やすくなる)
 - ④心肺機能の変化(息切れしづらくなる・効率良く酸素の運搬ができるようになる)
 - ⑤脳・神経系の働きが良くなる
 - ⑥その他血液の変化(中性脂肪・血糖値の低下)
- 以上のような効果があります。

また、精神面から見てみると、
①気持の安定(とくに更年期にお勧め)

- ②心・感情がすっきりする
- ③欲求不満解消
- ④気分転換・ストレス発散

以上のような効果があります。

実際に運動しているヘルストレーニングルーム利用者からは、「体重・体脂肪が減った」、「血压が下がった」、「肩・腰・膝・肩の痛みがとれた」、「体のだるさがとれた」、「日ごろのストレスが発散できた」、「疲れにくくなった」、「階段の上り下りが楽になった」、「転ばなくなった」、「ちょっとした動きで息切れしなくなった」、「体が柔らかくなった」、「友人が増えた」

などの声が聞かれます。そのほかにも多数の効果があるようです。

「自分は年だから……いまさら」と思われている人は、いらっやいませんか？ 運動は年齢を問わずさまざまな変化が起こるのです。

運動すれば脳の働きも良くなる???

運動は思わぬところ「脳」にも変化をもたらします。あまり聞いたことがない「脳」への影響とは、例えばランニングをすることにより、短期の記憶をつかさどる前頭連合野ぜんとうれんごうと呼ばれる部分が活発になり、記憶力が良くなります。皆さんは昨夜の食事のメニューを

忘れたことはありませんか？運動は、そういった記憶力向上に働くのです。

さらに前頭連合野は、脳をコントロールしているため脳に蓄えられているさまざまな知能(言語・感情など)をどのように使うか判断しているのです。つまり、言葉を話したり、笑ったりすることですね。だから、前頭連合野が活発に働くことは頭が良くなるというわけです。

また、脳が鍛えられると、例えば、電車に乗っていて急な揺れで脚がふらつき倒れそうになったときなど、無意識のうちにバランスをとろうとすることができます。

そういう感覚神経が脳へ信号を出し、そこから脳が倒れそうな脚の筋肉へ「力を入ろ」と信号を送り脚に力が入るのです。そういった行動も、普段から「運動」している人とそうでない人の差が歴然としてくるのです。

運動不足になると……

- ①生活習慣病(糖尿病・高血圧・高脂血症など)にかかりやすくなる。
- ②メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)になる。
- ③精神的ストレスが増える。
- ④いざという時の力、予備力が低下する。
- ⑤暑さや寒さ、さまざまな病気に対する抵抗力が低下する。
- ⑥加齢とともにみられる体力の低下が加速していく。

しかし、運動のやりすぎにはご注意を。無理をすると体に大きな

負担となりけがのもとになったり、逆に「ストレス」になったりします。適度な運動を続けることがお勧めです。

また、トレーニングルームには専門のトレーナー(健康運動指導士)が、待機しており、効果的な運動のアドバイスをいつでも行っています。何回か利用した人には、体力測定をしてその評価もします。(実際の年齢よりも大切な「体力年齢」も確認できます)

そのほか、健康診断結果のご相談も任意で行っています。

トレーニングルーム隣の「健康推進課」には栄養士・保健師もいますので、健康に関する質問も何でもお受けできます(無料)。

ぜひ、有効利用してください！

食事のアドバイス

○主菜は肉より魚中心に

あじ・ぶり・さば等の青背の魚の脂肪は、血液をサラサラにして動脈硬化を抑えます。

○野菜は毎日たっぷり欠かさずに

1日400gの野菜をとりましょう。食事の初めに野菜を食べることで満腹感を得て、食べ過ぎを防ぎます。

○油を上手にとろう

肉は脂肪の少ないヒレやモモを選びましょう。油を落とすには蒸す・ゆでる・網焼きなど工夫しましょう。また、バター・ラードなどの動物性脂肪よりも、サラダ油・なたね油・オリーブ油を取りましょう。

○基本は3食きちんと規則正しく！

1日3食をきちんととり、毎回の食事の量を少しだけ減らすこと。すなわち腹八分目で箸をおくように心掛けましょう。

健康の秘けつはズバリ「運動・栄養・休養」のバランスです。

【問】ヘルストレーニングルーム(総和福祉センター「健康の駅」内) ☎92-7085



▲運動後のストレッチも重要です

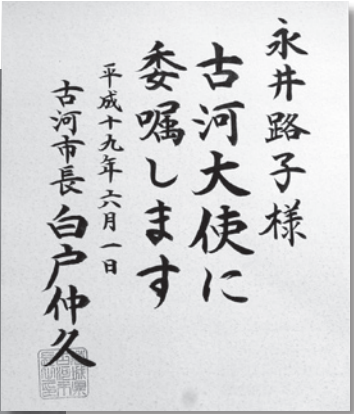
塚原 三郎さん(尾崎)



過去に大きな事故に遭い、手足が動かなくなった時期がありました。毎日、リハビリのつもりでヘルストレーニングルームに通い続けた結果、今では社会復帰することができました。

私と同じようにけがをし、つらい日々を送っている人がいると思います。でも、決してあきらめず、毎日コツコツと続けてほしいです。

名誉市民 永井路子さんを 初代「古河大使」に



古河市では、市のイメージアップや郷土への親しみ・愛着の高揚を図るため、「古河大使」制度を創設しました。この制度は、市にゆかりのある著名な方々を大使に委嘱し、本市の応援メッセージをさまざまな機会に発信していただいたり、まちづくりに対する助言をいただいたりするものです。

古河市名誉市民の永井路子さん(東京都在住)に、初代「古河大使」の委嘱状を交付しました。永井さんは、歴史文学の第一人者として活躍され、直木賞をはじめ数々の文学賞を受賞されている著名な方です。

これまでも、作家活動のかたわら、さまざまなメディアや講演会で古河市を内外に紹介していただいたり、また、市内には永井さんゆかりの「古河文学館」や「永井路子旧宅」があることから、古河市のまちづくりに貴重なご提言やご協力をいただいたりしてきました。永井さんには、これからも古河市の良さや魅力を、さまざまな機会を通じて発信していただくこととなります。

■永井路子さん略年譜

大正14年	3月31日、東京市本郷区弥生町(現、文京区弥生)に生まれる。ほどなく父八郎治の郷里茨城県猿島郡古河町(現、古河市)に移る。
昭和6年	古河女子尋常高等小学校(現、古河第一小学校)入学。
昭和12年	茨城県立古河高等女学校(現、古河第二高等学校)入学。
昭和19年	9月、東京女子大学国語専攻部卒業。
昭和24年	5月、黒板伸夫と結婚して東京へ移る。小学館入社。
昭和27年	1月、「サンデー毎日」懸賞小説に「三條院記」が二席入選。
昭和36年	8月、小学館退社。
昭和40年	『炎環』で第52回直木賞。
昭和54年	『北条政子』ほかを原作に、NHK大河ドラマ「草燃える」放映。
昭和57年	『氷輪』で第21回女流文学賞。
昭和59年	10月、『この世をば』などにより第32回菊池寛賞。11月、第33回神奈川文化賞。
昭和63年	4月、『雲と風と』ならびに一連の歴史小説で第22回吉川英治文学賞。
平成9年	『山霧』『元就、そして女たち』を原作に、NHK大河ドラマ「毛利元就」放映。3月、NHK放送文化賞。11月、茨城県特別功績章。
平成15年	9月、古河市名誉市民となる。10月、古河文学館にて特別展開催。

特別寄稿

古河の歴史と古河総合公園づくりの哲学が一冊となった中村良夫さん著の「湿地転生の記」。このたび永井路子さんから、この本についての寄稿をいただきましたので、ご紹介します。

「風景学」という学問の新分野を拓かれ、世界的評価を得ておられる方の著書について語る資格などないのですが、ぜひ御紹介したいと思うのは、まず、この本の舞台が、他ならぬ古河の御所沼であるからです。

しかも刊行されたのは、新しい大古河市誕生のときでした。ここでは大古河市のすべてをかえりみつつ、未来がみつめられているのです。

では、中村氏はなぜこの著書をや？ という点、戦争末期に東京から古河に疎開されたからで、まもなく中村少年は、カスリン台風で不安な一夜を過ごします。やがて暗闇の中に地唸りが響きました。対岸の向古河の土手が決潰したのです。

少し下流で渡良瀬と合流していた利根川の土手も崩れ、狂った濁流は一気に南下して東京を襲い、葛飾、足立、江戸川区を呑みこんでしまったことは私もよく憶えています。

御存じかと思いますが、昔の利根川は南に流れ、江戸（東京）湾に注いでいました。これを江戸時代初期の大工事である振じまげ、太平洋に流れこむようにしたので

すが、台風に狂った水は、あたかも昔の流れを思いだしたかのようになり、東京まで走ってしまったのです。これが中村少年に「水のいのち」のふしぎさを考えさせるきっかけになりました。

また、近くの御所沼も少年の記憶に鮮やかでした。なぜ「ゴシヨヌマ」なのかも知らず、沼の姿もさびれていましたが、それでもトンボや魚が好み、メルヘンや怪談に満ちた所でした。

やがて東京に戻り、「景観工学」を専攻して数十年、中村氏の許に、古河市役所から一本の電話

がかかって来ました。

「公園造りのため、御所沼を何とか……」

これが氏の古河再会のきっかけになりました。かつての古河公方の館（御所）を巡っていた堀の跡こそ、その名も「御所沼」だったのです。

それからの歴史学、考古学、古典、地理への凄まじいアタックぶり。専門の地質学や景観工学についての説明もわかりやすく、大古河の原始の姿から現代までのすべてが語られています。社会状況に

左右され、踏みまじられ、息も絶え絶えの沼が「いのち」を取り戻す経緯は、まさに一編のドラマです。

そしていま、沼にさわやかな流れがよみがえり、桃林や美しい花々に彩られた公園が生まれました。日本唯一のメリナ・メルクーリ国際賞に輝いたのも、すべて中村マジックの成果にほかなりません。

沼は昔のまま「復元」されたのでもなく、古紙の再利用のように「再生」したのでもなく、全く別の姿で登場しながら、底に深い歴史が息づいています。それが「転生」なのです。

著書はすでに高い評価を受けていますが、古河の皆様には、特にこれこそ「大古河の転生の記」として読んでいただきたいと思っています。総合公園の創立にあたられた関係者の方々の御努力に改めて感謝しつつ、さあ、ページを繰ってください。単なる桃の名所ではなく、中村氏が利用者の目線設計された、自然と人間の限らないからみあいの舞台を、この本を片手にゆくり歩んでいただきたいと思っています。成人教室の好テキストでもあります。

永井路子

「湿地転生の記」を読む



古河総合公園天神橋の上にて

◀中村良夫さんと著書「湿地転生の記」（発行/岩波書店、2,625円）

日本における景観工学の第一人者。道路、橋梁、公園、都市計画、国土運営など多方面にわたって、景観工学の手法を取り入れた設計・計画に携わっています。

○古河総合公園とのかかわり

- ・平成元年 古河総合公園基本計画の見直し検討委員会(委員長)
- ・平成11年 市民参加の古河総合公園づくりとパークマスターの配置を提案
- ・平成15年 「文化景観の保護と管理に関するメリナ・メルクーリ国際賞」(ユネスコ主催)に応募し受賞(古河市と中村さんの共同受賞)
- ・平成18年 古河総合公園基本計画の見直し検討委員会(委員長)



▶宇都宮市では、名物「ギョーザ」が、なんと石像に！



仕事の関係で古河市を離れ、もう10年が過ぎようとしています。現在は栃木県宇都宮市に住みはじめもうすぐ2回目の夏を迎えるところです。

夏と言えば思い出されるのは古河市在住の頃から楽しみだった花火大会。その会場となる渡良瀬川の河川敷は古河市の中でも最も思い出深い場所でもあります。お雀神社から土手に登り、栃木県方面の山々を見渡すあの景色をながめると胸がスーとして清々とした気持ちになれました。小中学校の写生大会と言うとやはりあの景色を描くのが恒例でしたので印象深いのかもかもしれません。

ここ宇都宮でも資金の関係からか3年ほど中止していた花火大会が今年は復活するとの話に、町の人々も楽しみにしているようです。古河市の花火大会も毎年楽しみにしていますので、これからも是非、続けてほしいと思っています。

もうひとつ古河市と私をつなぐ楽しみなイベントは、小学校・中学校時代の仲間が集まる同窓会です。実家を引き払ってしまった今では、実家に帰るような心持ちで立ち寄らせてもらえる友人宅や馴染みのお店などは、ほんとうにありがたい存在です。

もう、同級生もいいおじさん、おばさん(失礼!)になってしまいましたが、久しぶりに会ってもくったくのない笑顔で話しができ、子どもの頃のあだ名のままで呼びあえる仲間はいつまでも大切にしたい私の宝物です。

この仲間がいてくれる限り古河はいつまでたっても私の心の故郷です。「故郷は遠きにありて思うもの」という言葉が最近、身にしみるようになりました。

職場の同僚や近所の方々にも古河の良いところを知らせてあげたいと思います。



栃木県宇都宮市在住
吉羽 英和さん(右上)

宇都宮市も良い所がたくさんありますので、「ギョーザ」を食べに遊びに来てみてはいかがでしょうか。

マスターズサッカー大会

第17回古河市マスターズサッカー大会が5月19・20・26・27日の4日間、古河市サッカー場およびリバーフィールド古河で開かれました。今年は、1都9県の142チーム(約3,000人)が参加。全国から集まった40歳以上のサッカー選手たちが熱戦を繰り広げました。



▲ゴールを目指してシュート!

総和地区ソフトボール大会

5月27日、第30回行政区親善ソフトボール総和地区大会が上大野グラウンド・総和工業高校グラウンドで開かれました。参加チームは男子の部35チーム。女子の部7チーム。会場では、選手たちのファインプレーや珍プレーに歓声が響きわたっていました。



▲ソフトボールを通じて地域住民との親睦を深めました

～花火大会～

今月から市政に関する話題など、私から皆様にお伝えさせていただくことになりました。題字「日々新たなり」は、毎日謙虚な気持ちで新市基盤づくりに地道な努力を重ねていこうという、自戒の意味を込めたものです。毎回ご一読くだされば幸いです。

いよいよ夏本番。涼を求めて今年も花火大会を実施します。真夏の古河の夜空を彩る15,000発の打上花火。そして何と言っても今年の目玉は、古河市の新名物“3尺玉3発”の打上げです。1市2町の良き伝統の継承がこの3発に込められています。渡良瀬遊水地の雄大なロケーションを生かし、古河ならではの演出を発揮したいと考えております。

さて、打上花火の魅力は何でしょうか。私なりに考えて見ますと、鮮やかな光彩、夜空を独占する大輪の花、万雷(さく裂音)、ダイナミックさなど、いろいろ思い浮かびます。そんなすべての魅力を兼ね備えた打上花火が3尺玉です。直径90cm、重さ300kg、火薬使用量80kgのままに大玉ですが、上空600mまで上昇し、直径650mの大輪の花を咲かせます。多くの方々はそのスケールの大きさに

驚くことでしょう。

ところで、私はこの花火大会に二つの思いを寄せています。一つ目は花火大会を通じて古河市を全国に発信・PRすること、二つ目は花火大会を市民共通の財産、市民の誇りにすることです。これらを達成していくためには、毎年恒例イベントにしていくことと、他の花火大会をしのぐ特色ある大会にしていくことが大切です。そして何よりも大切なことは、市民の皆様のご理解とご協力を得て市民参加型の花火大会にしていくことです。この点、今年も多くの方々から協賛をいただいております。たいへん心強く心からお礼を申し上げます。

三つの大輪の花が一つの大きな感動を呼び起こし、外に古河市の名声を、内に市民の一体感を大いに高めていくことを願ってやみません。

それでは皆様、来月4日(土)午後7時10分、花火大会の会場でお会いいたしましょう。



▶昨年の花火大会で打ち上げられた3尺玉

My Hobby

I LOVE ROAD BIKE

つくだ まさあき
築田 政明さん

シンプルなフレームにドロップハンドル、細いスリックタイヤが組み合わされた、まるでスポーツカーのような自転車に乗っている築田政明さん(関戸)に話を伺いました。

ダイエットにもおすすめ！

築田さんとロードバイクとの出会いは10年前。「健康管理のためにジョギングを始めたが、膝に負担がかかるようになったので自転車に乗ってみようと思ったのがきっかけ。マウンテンバイクに始まり、今では長距離が走れるタイプのロードバイクにはまっています。その効果があり、当時の体重からナント20kgのダイエットに成功しました！」と日焼けした笑顔に白い歯が光ります。



▲自転車は人や環境に優しい乗り物。何歳になっても走りたいですね！

パークライフ 《野生の生き物と人が一緒に暮らせる公園づくり(古河総合公園)》

桃林で除草剤の使用をやめたのが2004年。野草が茂り、昆虫やミミズが増え、モグラが沢山すみ始めました。そして今年4月26日、開園以来初めてフクロウの子育てが確認されました。

多くの来園者の視線の中、親鳥は巣のそばの高い木から見張りを続け、昼は巣に近づくアオダイショウを撃退し、夕夜はエサを運びました。そして、5月5・6日の早朝、二羽のヒナは無事に巣立ちました。

フクロウは、私たちに子育ての尊さを伝えてくれただけでなく、多くの問いを投げかけました。

問いかけ1：稀少な生き物

の生息が確認された場合、多くの市民に知らせるためにマスコミ報道すべきか、それとも保護のために報道を制限すべきか？

問いかけ2：道に並ぶカメラの列、携帯電話でのフ

ラッシュ撮影など、利用者の判断に任せることと、管理者が制限することの境は？

問いかけ3：巣立ったヒナが林の下でうずくまってカラスに襲われていた。野生の世界に人は介入すべきでないのか、それとも助けるべきか？

皆さんは、古河総合公園では、野生の生き物と一緒に暮らすために、どんな考え方を大切にしたいですか？

ご家庭・学校・職場で話し合ってみませんか。ご意見お待ちしております。

来年もフクロウが来ることを願って……



▲鯉池の畔の柳のうろに視線は集まった

【問】古河総合公園管理棟 パークマスター

☎47-1129 FAX48-5685

メールkogapark-iwahori@bz01.plala.or.jp

継続は力なり

市内の会社へ勤務している築田さんは、通勤は必ず自転車。帰宅後も2時間のロード練習。休日は、ロードバイク仲間と栃木県の太平山や前日光牧場、東京都の葛西臨海公園などへ、長い時には8時間のロード練習。日々の練習の成果があり、各地で開催されているヒルクライムレース(山登り専門)の大会で表彰台へ上がる成績を収めています。

マウンテンサイクリング in 乗鞍

築田さんの今の目標は、8月末に長野県乗鞍高原で開催されるアマチュアレース(日本最高峰)に出場し、表彰台に子ども(2人)を抱っこして上がること。

このレースは、乗鞍スキー場から乗鞍岳の山頂までの標高差1,400m、距離22kmを一気に駆け上が

▶レースのときの緊張感と独特の雰囲気が「最高」です



るとも辛く熱いもの。毎年約3,500人の参加者が集まります。(過去に出場したときの最高順位は5位)

「まだ、子どもが小さいが、大きくなったら一緒にロードバイクに乗ってレースに参加して、スポーツの楽しさ・挑むことのすばらしさを教えたいですね。それと、ロードバイクは、日本ではまだまだ人気がないスポーツなので、これから広めていきたいですね。」と話してくれました。

文化財の窓 長谷観音

「いつの世も 三国の衆生を救わんと 誓いもか
たき 長谷観音」(古河長谷観音御詠歌)

市内長谷町にある長谷寺は長谷観音の名前で広く信仰されています。正式には明観山観音院長谷寺といい、真言宗豊山派の寺院です。本尊の十一面観音像は市の有形文化財(彫刻)に指定され、像高206.34cmを測り、寄木造で玉眼がはめ込まれています。

この観音像は明応2年(1493年)、古河公方足利成氏が古河城の鬼門除けとして鎌倉の長谷寺から勧請したものと伝え、大和・鎌倉の長谷観音とともに日本三大長谷観音といわれ、同じ一本の楠から造られた像とされています。江戸時代は古河城の鬼門仏として、古河藩主累代の祈願所となりましたが、明治初年には廃寺となり、八間四面の本堂は壊され、安置されていた観音像は横山町の徳星寺に移されていました。その後大正3年(1914年)に再興され、昭和54年(1979年)4月に本堂が完成しました。かつて長谷寺では、土用の丑の日に中気予防の灸が行われていました。また、8月19日は四万八千日といって、この日に参詣すれば4万8千日分の功德があ



▲十一面観音立像(長谷観音)

るといわれています。

十一面観音像の姿は、一般的には頭上に九あるいは十の変化面、髻頂に仏面一面を表わし、頭上面のみで十一面、あるいは本面と合わせて十一面となります。左手には蓮華を挿した華瓶を持ち、右手は与願印を表していますが、長谷観音と称する十一面観音は、これに加えて右手に錫杖を添えて立つ姿に造られます。これを長谷寺式十一面観音像とよんでいます。現在古河の長谷観音には錫杖が添えられていません。観音像の移転などにより亡失した可能性が考えられます。

中世以降、長谷観音信仰の全国的な広まりに伴い、各地で長谷寺式十一面観音像が造られるようになりました。近隣の長谷寺式十一面観音像としては、結城郡八千代町八町にある新長谷寺の像が知られ、八町観音の名で広く信仰されています。

現在、全国100箇寺以上あるといわれる長谷寺(長谷観音)のなかには、古河の長谷観音と同じように、大和・鎌倉とともに日本三大長谷観音とする伝承がみられるようです。(文化課文化財保護係)

ペリー黒船艦隊の来航と鷹見泉石の情報活動

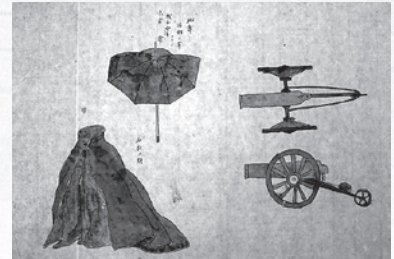
今から154年前の旧暦6月3日。現行の暦では7月8日とありますが、季節はちょうどいま時分のこと。突然、それまで見たこともない真っ黒で巨大な軍艦が江戸湾浦賀沖に姿を現します。歴史教科書にいうこの「黒船来航」は、国内を揺るがす大事件となったのでした。

当時、古河藩家老の職を辞し、国元の古河にあった鷹見泉石のもとに、すぐさまその報せが入ります。隠居の身でありながら、迅速な情報入手を可能にしていた泉石のネットワークにも驚かされますが、彼は、眼病治療を理由にすぐさま江戸へ旅行することを藩庁へ願ひ出ています。

旅先の江戸で、泉石は、頭角をあらわしつつあった勝海舟や、漂流民中浜万次郎らに会って、最新の情報を手にして古河の隠居屋敷（現鷹見泉石記念館）へ帰りました。

現在、歴史博物館に陳列中の「彼理横浜入津図」は、ペリー艦隊の艦船・提督以下士官の肖像、彼らの装束等々を詳細に描写した図巻で、泉石の収集したペリー関係情報のひとつです。

そして、泉石は、これらの情報をもとに、開国論を主軸とする幕府への意見書を執筆しました。『愚意摘要』と命名されたこの上書も、現在、歴史博物館展示室1で公開中、ぜひご覧ください。



▲「彼理横浜入津図」（国重要文化財）

会場＝古河歴史博物館常設展示室1

会期＝8月23日(木)まで

入館料 一般400円 小中高生100円

休館日 月曜日、第4金曜日

【問】古河歴史博物館 ☎22-5211

図書館おすすめの図書

◇一般書

・八日目の蟬

角田 光代 著



逃げて、逃げて、逃げのびたら、私はあなたの母になれるだろうか。誘拐犯と誘拐された子。ふたりの女の心に分け入ることで家族という不可思議な枠組みの意味を探る。心をゆさぶる長編サスペンス。

出版社…中央公論新社 分類…Fカ

・精霊の息吹く丘

モーリス・バレス 著



どこからこれらの地の力は来るのか。その力はなんらかの偉大な歴史的出来事から来るのか。ローレーヌの廃墟に修道院を再興した三人兄弟の栄光と挫折の物語。20世紀知の巨人による知られざる傑作を初邦訳。

出版社…中央公論新社

分類…953 バ

◇児童書

・小説 火の鳥 ヤマト編

手塚 治虫 原作



火の鳥の生き血があればみんなを救えるかもしれない！ 生けにえとなって殺される罪なき民を救うため、火の鳥のすむクマソへと向かうヤマトの王子オグナの運命は？ 人間の生と死の意味を問う、手塚治虫の名作が待望の小説化。

出版社…ポプラ社 分類…913

・まだですか？

柳生 まち子 作



うさぎちゃんちにも、おさるさんちにも、ぶたさんちにも、もうすぐいいことがあるんだって。まおちゃんはおばさんたちに訊きますが、おばさんたちは「もうすぐわかるわよー」と言うばかり。もしかしたら…？

出版社…福音館書店 分類…E

(古河図書館)

健康 情報局

熱中症にご用心

今年の夏も、長期予報によると暑い日が続くそうです。炎天下などで長時間過ごしたりすると、熱中症にかかりやすくなります。

熱中症は、適切な予防法を知っていれば、十分に防ぐことができます。

○熱中症とは

人間の体は、暑さを感じたときに汗を出すことによって体温調節を行っています。でも、水分不足などで汗が出にくくなったりすると、体内の熱がこもってしまいます。その熱がたまることにより引き起こされるさまざまな身体の不調のことを、「熱中症」といいます。

○熱中症の予防

熱中症を予防するためには、日陰を選んで歩いたり、帽子をかぶったりして暑さを避け、水分を十分に補給するなど、日ごろから気をつけること大切です。また、前の晩に深酒をした人や朝食を抜いた人は熱中症を起こしやすいようですので、規則正しい生活を心掛けましょう。

○私たちの体の水分

1日で体に入る水分と体から出る水分について、おおよそ次のようになっています。

《体に入る水分》

食事：1000ml
飲水：1000～1500ml
代謝水：300ml

計：2800ml

《体から出る水分》

尿：1500ml
便：300ml
汗や呼吸：700～1000ml
計：2800ml

○十分な水分補給を

熱中症状予防のためには、何より水分補給が大切。皆さんはどのように水分を取っていますか？

医師から制限されていない人は、水分を1日約1500ml取るといいと思います。でも、のどが渴いたからといってがぶ飲みしてしまうと胃液を薄めてしまい消化不良を起こす場合があるので、数回に分けて補給しましょう。

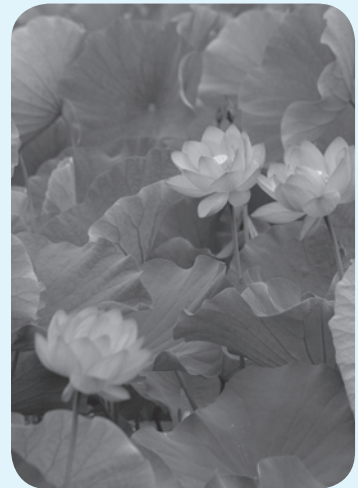
また、市販のペットボトルや缶入り飲み物は、糖分を多く含んでいるものがありますから取り過ぎに注意が必要です。冷たすぎるのも胃腸に負担が掛かりますね。

いよいよ夏本番。水分補給に気をつけながら、夏の暑さを元気に乗り切ってください。

(健康推進課)



表紙写真



7月初旬から8月初旬に、古河総合公園では、大賀ハスが見ごろとなります。昭和26年、千葉市の東京大学検見川農場で約2000年前の地層からハスの実が発掘され、発芽に成功。発掘にあたった大賀一郎博士の名にちなみ大賀ハスと名付けられました。

総合公園の大賀ハスは昭和50年に千葉市から蓮根2本を贈られたことに始まりま。現在、3000㎡の水面を覆うほどに成長。早朝に沢山の写真愛好家たちが訪れます。(写真は今年の「総合公園の大賀ハス」)

寄付

総合葬祭あかつき会館(小林千代子代表)が、福祉事業費として、10万円を寄付。

人口と世帯

(6月1日現在 住民基本台帳から)

総人口 146,063人(+13)

男 73,254人

女 72,809人

世帯数 52,556世帯(+69)

() 内は前月比

れんこんバーグ (糖尿病の予防)



エネルギー=137kcal、たんぱく質=4.5g、脂質=1.4g、塩分=1.6g

しょうが20g、青しそ30枚、長ねぎ2本、片栗粉大さじ6、塩・こしょう少々、ごま油少々、酢しょうゆゆ大さじ6、大根おろし5cm、もやし200g、にら100g、人参20g、ミニトマト6個

作り方

- ①しょうが・青しそ・長ねぎをみじん切り、人参をせん切りにし、にらを3~4cmの長さに切る。
- ②れんこんを洗い皮のまますりおろす。汁は軽く絞って片栗粉・しょうが・青しそ・長ねぎ・塩・こしょうを混ぜ合わせ、12等分にして円形にまとめる。
- ③フライパンにごま油をひき、②を弱火で蓋をしたまま2分ほど焼く。固まってきたら裏返して焼く。
- ④付け合せのもやし・にら・人参を茹でて絞る。

(食生活改善推進協議会)

材料(6人分)

れんこん500g、しょうが20g、青しそ30枚、長ねぎ2本、片栗粉大さじ6、塩・こしょう少々、ごま油少々、酢しょうゆゆ大さじ6、大根おろし5cm、もやし200g、にら100g、人参20g、ミニトマト6個

アイドル登場

見るものすべてに興味津々!

海老澤奨英くん(1歳1カ月・下大野)



最近では歩くのも上手になり、見るものすべてに興味津々で目をキラキラさせています。換気扇、扇風機など回るものが大好きで、どこかへ出かけても回るものを見ると、止まってそこから動こうとしません。指さして、楽しそうにしています。

奨英、うちの子に産まれてきてくれてありがとう! パパとママはあなたの笑顔が大好きです。

(父:真一さん・母:房子さん)

古河風土記

博物館外交
わがまち古河の親善大使

さきごろ、「古河大使」の制度が発足し、(12ページ参照)先般、最初の委嘱状が、作家の永井路子氏に手渡されました。

大使といえは重要です。いわば「外交」を通じて、わがまち古河の同一性をさまざまな地域へ伝えゆくことは、換言すれば、古河固有の歴史と文化を自在に表現するということにはかなりません。永井氏の大使就任は、もっともふさわしい人選といつてよいでしょう。

ところで、今からちょうど百年前のこと。明治39年、わがまち古河には、すでに「大使」同様、ながい歴史の中で育まれた古河文化の宣伝を担った一群が存在していました。この難しい職責を全うしたものの正体、それは、わがまちの文化財たちであったのです。

上野の東京帝室博物館(現 東京国立博物館)における、この年の特別展に「嘉永以前西洋輸入品及参考品」というものがありました。この展覧会には、古河の鷹見邸(現 鷹見泉石記念館)から214点もの文化財が陳列されています。

その3年後には、英国ロンドンにて、「鷹見泉石像」が公開されることにな



▲博物館外交を担う文化財 (彩色鉛兵隊人形)

りました。古河の顔というべき文化財が、日本代表の文化財として渡航したのです。この国宝画像を除くすべての鷹見泉石関係資料が、現在、当館の所蔵品となっていることは申し上げるまでもないでしょう。個別のタイトルが表示された古河渡りの「外交官」たちは、一様に、わがまち古河の歴史と文化を解説する文にいろど彩られて、雄弁にその存在をアピールしたのでした。

さて、下つて、こんにちのはなし。鷹見泉石関係資料(国重要文化財)をはじめ、古河歴史博物館には、いずれ劣ることのない数万点におよぶ文化財がたいせつに保存されています。

そして、これらの文化財には、少なくとも毎年4~5件、全国各地の博物館から展示公開の要望が寄せられてきました。北は岩手県から、南は長崎県まで。そして、近隣では一都六県すべての都・県立博物館、もちろん東京国立博物館も例外ではありません。変わり種ではオランダ国営のアムステルダム海事博物館というのもありました。開館から17年を経た現在、博物館の「古河大使」たちは、いわばあらゆる地域の招待を受けて、わがまち古河の存在証明の旅を続けているのです。

(古河歴史博物館 学芸員 永用俊彦)

平成19年7月1日発行 ●発行所/〒3061029 1 茨城県古河市下大野2248 古河市役所 ☎0280(92)3111
●編集/広報広聴課 ●ホームページ/ http://www.city.furukawa.lg.jp